



未来を拓く実践力  
青森大学  
AOMORI UNIVERSITY

青森大学むつキャンパス

〒035-0072  
青森県むつ市金谷一丁目10-1 (下北文化会館内)  
Tel. 0175-31-0044 Fax. 0175-31-0145  
<https://aomori-u.ac.jp/mutsu/>

青森大学

〒030-0943 青森県青森市幸畑2-3-1  
Tel. 017-738-2001 Fax. 017-738-0143

青森大学東京キャンパス

〒134-0087 東京都江戸川区清新町2-10-1



青森大学  
むつキャンパス

# 青森大学 むつキャンパスが 新しいむつ下北を創る



次世代の地域社会、経済を支える  
若者の育成を担います。  
むつ、青森、東京の  
3キャンパスを結び、世界と繋がる。  
未来に向けて  
あらゆる可能性を創出します。



青森大学 学長  
金井 一頼

青森大学はより良い学びを追求し続ける、学生が主役の大学です。そして、過去のイメージにとらわれず進化し続ける、「尖った大学」でもあります。

むつキャンパスは、むつ下北の豊かな自然と文化の中で確かな教養を培い、今後の青森をつくり上げる若者を育成する礎となります。そこで生まれる学生一人ひとりの自主性や実践的能力は、日本で唯一無二の糧となることでしょう。

我々は学生全員が成長を実感でき、それぞれの夢に向かって歩むことができるよう応援します。自分を成長させたい、未来とともに切り拓いていきたい学生は、是非、入学してください。主役の皆さんがワクワクと学ぶことができる環境を整備してお待ちしております。



むつ市長  
宮下 宗一郎 氏

青森大学むつキャンパスは下北地域初の四年制大学であり、人材育成や地域文化・地域産業の振興など市の発展を担う礎でもあります。

少子高齢化や人口減少が進んでいく中、むつキャンパスという新たな拠点で市民と学生がともに学び、交流していくことで、大学進学率向上や地元定着などあらゆる可能性の創出が期待されます。

むつ下北の未来だけではなく、青森、そして世界の未来へ挑戦するためのステージであるむつ下北未来創生キャンパスの中核として、むつキャンパスが地域に住むすべての住民にとって希望となることを願っています。

## 入学式・開校式挙行 むつ下北新時代の幕開け

新しい歴史の第一歩  
を踏み出しました

令和4年4月2日、青森大学入学式及びむつキャンパス開校式が執り行われました。入学式では「地元であるむつ市に素晴らしいキャンパスが誕生し、この地で貴重な時間を過ごせることを嬉しく思います。友とともに自ら学び、鍛錬し続けることを誓います。」全キャンパスの新入生を代表して、小向 瑠菜さんが晴れやかな表情で宣誓しました。

むつキャンパスが開校されたことで、4年後にはむつ市の街に約100人の若者が集い、新しいむつ下北の未来を創っていくことでしょう。

むつ下北の歴史を振り返ったとき、この日が市民にとって、特別な一日として記憶されることを願っています。



## DX時代の新しい学び むつ-青森-東京

むつ・青森・東京  
行き来する  
新しい学び

対面授業に加え、IT技術を駆使し、むつと青森と東京をリアルタイムで繋ぐインタラクティブなオンライン授業も組み合わせで展開します。  
1・2年次は東京キャンパスで履修できます。  
3・4年次は、インターンシップや就職活動に東京キャンパスを利用でき、それらの関連科目を受講できます。

	総合 経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部
1年次	むつ/東京/青森		
2年次	むつ/東京/青森		
3年次	むつ/青森		
4年次	むつ/青森		

# むつキャンパスのいいところ聞きました!

在学生の  
声を聞きました!!



川野 翔葵 さん  
総合経営学部  
青森県立むつ工業高等学校出身



二本柳 侑李 さん  
総合経営学部  
青森県立大湊高等学校出身



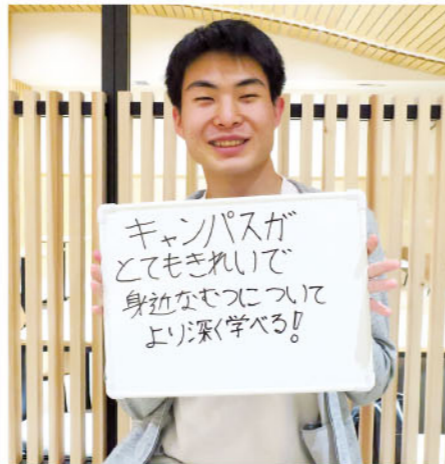
劔地 透也 さん  
総合経営学部  
青森県立田名部高等学校出身



坂本 翔琉 さん  
社会学部  
青森県立大湊高等学校出身



松尾 祈 さん  
社会学部  
青森県立大湊高等学校出身



新田 優志 さん  
社会学部  
青森県立田名部高等学校出身



長内 桃香 さん  
社会学部  
青森県立大湊高等学校出身



稲葉 笙 さん  
社会学部  
青森県立田名部高等学校出身



山本 奏真 さん  
ソフトウェア情報学部  
青森県立大間高等学校出身

# MESSAGES from the students



小向 瑠菜さん (左)  
社会学部  
青森県立田名部高等学校出身

小向 瑠花 さん (右)  
社会学部  
青森県立大湊高等学校出身



川嶋 真実 さん  
社会学部  
青森県立田名部高等学校出身



谷川 蒼空 さん  
社会学部  
青森県立大湊高等学校出身



渡辺 叶愛 さん (左)  
ソフトウェア情報学部  
青森県立田名部高等学校出身

北上 佳乃 さん (右)  
ソフトウェア情報学部  
青森県立田名部高等学校出身

# CONTENTS

- 03 MESSAGES
- 05 総合経営学部 紹介
- 07 社会学部 紹介
- 09 ソフトウェア情報学部 紹介
- 11 むつ下北を知る
- 12 施設マップ
- 13 キャンパスライフ

## キャンパス長よりメッセージ



キャンパス長  
今井 啓之

四年制大学の開設はむつ下北にとって長年の悲願でした。むつ市の行動力と青森大学の英断があればこそ実現出来たものと思っています。今年度むつキャンパスでは15名の学生が学んでいます。卒業後の自己実現に向け皆学問に進進しています。私達教職員は、学生が学ぶことに喜びを見出せるようなキャンパスの実現に努めてまいります。そして、私には大事な使命が課せられています。それはキャンパス長として学生を我が子のように見守ることです。

むつ下北の高校生の諸君!私達は皆さんを待っています!



ビジネス  
イノベーションコース

ITや英語など新時代の企業経営に必要な知識とスキルを習得し、中小企業の活性化に必要な独創性や挑戦する心をもった人材を育成するコースです。事業承継（中小企業・商店の跡継ぎ）やベンチャーについて専門的な授業を実施します。

フィールド  
ツーリズムコース

青森県には、たくさんの魅力的な自然資源があります。青森オリジナルの新たなマーケティング開発の手法を学び、地域によって持続可能な未来志向の企画をすることによって、自然を生かし、体験を取り入れた新たな観光産業を立ち上げる人材育成を目指します。

会計コース

企業人にとって必須のスキルである財務・会計情報の読み方、作り方を理論的かつ実践的に学び、実務の即戦力となる人材を育成するコースです。企業を会計で支えるプロを養成する早期一貫教育にも力を入れており、熟年度に応じた日商簿記検定各級に対応した科目を履修できるカリキュラムを用意しています。

スポーツ  
ビジネスコース

スポーツを経営・ビジネスの観点から学ぶコースです。スポーツに関する法律、スポーツ施設の管理運営、公認スポーツ指導者の資格・育成、スポーツクラブの運営などを学びます。また、保健体育の教員免許取得に必要な科目も用意しています。

※履修する科目(資格取得等)によっては、一部青森キャンパスで履修が必要となる場合があります。

Check!

観光産業とは？

観光産業は、空港や鉄道などの交通業、ホテル・旅館など宿泊施設や土産品店や飲食店など宿泊販売業も含まれます。

これに加え、様々な体験を組み入れた新たな観光事業を立ち上げる人材が必要です。

民間企業や地域団体と連携し、地域の魅力を磨き上げ、新たな観光産業を創りあげる時です。



総合経営学部  
佐々木 豊志 学部長

青森県産業界と連携  
地域のポテンシャルを活かし  
地域創生に参画

これからの地域社会は持続可能な共生社会の創造が重要になります。

下北の未来は、循環可能な地域資源を活かしたSDGsの地域循環共生圏に進化させなければなりません。

地域の多彩なポテンシャルを掘り起こし、社会関係資本を駆使して新たな事業の展開の可能性が期待されます。

若者たちには、地域で起業し、新たな事業を展開し、地域に根ざした社会的企業を担うことを期待されます。そんな若者とともに未来創造の一步を踏み出します。

授業紹介

科目名 経営戦略論

担当教員 井岡 佳代子

科目の内容 ▶ 私たちの周りには、長い間、激動の時代をくぐり抜け今日まで続いている企業があります。その一方で、数年でつぶれてしまう企業があります。その理由は、どこにあるのでしょうか。

こういった問題、つまり、経営に関する社会現象を理論的に考え、自分なりの分析フレームワークを作る基礎を提供するのが、経営戦略論の講義です。より具体的には、そのために、はじめに経営戦略論の基本的な思考・フレームワークを解説した上で、それに関連する事例を紹介し、企業の今日的な課題やその解決策について考察を加えていく、という形式で講義を進めていきます。

担当教員より 「経営戦略論」は経営学の基礎的な科目。一緒に楽しく学びましょう！

在学生インタビュー

総合経営学部 経営学科

川野 翔葵 さん

(青森県立むつ工業高等学校出身)

将来は学んだ知識を生かし、生まれ育ったむつ市で働きたい

「経営学」や「経済学」について学びたいと思い総合経営学部を選択しました。現在学んでいる「会計学基礎論」は日商簿記の資格取得にもつながり、興味が湧いてきます。

今はやりたいことが多く色々な可能性を考えていますが、将来は学んだ知識を生かして、生まれ育ったむつ市で働きたいと考えています。



### コミュニティ創生コース

さまざまな社会現象を理解するための視点と、現状を的確に捉えるための方法を学び、地域社会の課題や解決策についての理解を深めます。地域課題について自ら調べて成果を発信、地域団体・NPO・行政機関などと協働して課題解決に取り組む体験を積みみます。

### 地域貢献の最先端を目指す教授陣と教育プログラム

地域とともに生きる学部を目指し、地方自治体、商工会との密接な協力体制のもと、Think, Plan and Try の方針で常に新たな学びを提供し、地域の諸課題の解決に向けた理論、体験、実践を進めています。

#### 体系的に学べる3つのプログラム

地域課題の解決能力を養うことを目的に、それぞれが一つの視点で貫かれたプログラムを3つ用意しています。

#### 観光プログラム (総合経営学部と合同で開講)

「地域に貢献する観光」「観光経営」の視点から、観光のあり方に迫ります。

#### 地域政策プログラム

公務員や準公共セクター（農協、商工会等）を目指す学生が、基本的知識と実践力を身につけます。

#### 社会調査プログラム

地域課題を明らかにするためのアンケート等の実施・結果分析をする「社会調査」の手法を体得します。

※社会福祉コースは、青森キャンパスでの受講が必要となります。  
※履修する科目（資格取得等）によっては、一部青森キャンパスで履修が必要となる場合があります。

### Check!

### 公務員講座

※青森キャンパスからの配信講座となります。

青森大学では就職人気ランキング上位の「公務員」合格に向けて、「東京アカデミー公務員専門学院」とのコラボレーションにより、公務員講座を行っております。県庁・市役所・病院・警察・消防・自衛隊などのべ100名以上の受講生が公務員試験に合格しております。

2年次対象

人文科学・自然科学・文章理解

2年次対象

憲法・民法・経済学・財政学

基礎  
発展  
実践

2年次対象

判断推理・数的推理・空間把握・政治・経済

2年次対象

人文科学・自然科学・文章理解

2年次対象

一般知識・文章理解・社会科学



社会学部  
清川 繁人 学部長

### 社会基盤を支え、地域の課題を解決

少子高齢社会に突入している今の日本において、大都市圏と地方との格差は今後増々広がることが予想されます。この青森県でも若い世代の県外流出は「まちづくり」における大きな課題となっています。

さあ、むつ下北地域の未来を作り上げる若者の皆さん！わたしたちと一緒に高度な知識を磨き合い、そしてこの街にしっかりと根を下ろすことで、新しいひかりを灯すその先駆者となり、明日に向かって全速力で駆け出しましょう！

### 授業紹介

科目名 入門演習

担当教員 工藤 和彦

**科目の内容**▶ 入門演習では、地域社会の諸問題を理解し、課題として取り組んでいくため今後の社会学部での学修に必要な技術の基礎を身につけることを目標とします。

具体的には、地域社会の諸問題への着眼、双方向コミュニケーションのための対話法、事例の収集方法、アイデアの発想法、効果的広報のためのデザインなど基本的かつ実践的な事柄を学んでいきます。

**担当教員より** 地域社会には様々な問題・課題がありますが、「Yes, and...」（肯定してさらに提案）の心がけを忘れずに一緒に前向きに取り組んでまいりましょう！

### 在学生インタビュー

社会学部 社会学科

小向 瑠花 さん

(青森県立大湊高等学校出身)

韓国語など語学を学ぶことも魅力の一つ

地元青森県下北について深く学ぶことに関心を抱きました。現在の地域の問題や課題を、映像や地域の方々の話を通じて知ることができるため、授業が楽しいです。専門科目以外にも、韓国語など語学を学ぶことも魅力の一つです。今後はアルバイトや課外活動など、勉学以外にも挑戦していき、自分自身の成長につなげていきたいと思っています。



ソフトウェア情報学部では、プログラミング科目を習熟度に応じたグループに分かれて納得いくまで学べます。初めてプログラミングに触れる人も自分に合ったペースで丁寧に学べるので実力がつきます。

## ▶ ソフトウェア情報学部3つの特徴

### プログラミングスキルへのこだわり

4年間のカリキュラムの中心に、常にプログラミング系の科目を中心科目として配置する国内でも有数のプログラミング科目の充実度を誇っています。プログラミングの能力はITスペシャリストにとって最も重要なスキルです。プログラミングを学ぶことで、目の前のあらゆる問題・課題に対して、常にコンピュータプログラムを作るときのように物事を論理的に捉え、抽象化やターン認識によってモデル化し、適切なアルゴリズムを適用して解決・対応するような考え方（「コンピューショナルシンキング」）ができるようになることを目指します。

### 研究室で行われている最先端の研究

AIやロボット、シミュレーションなど様々なテーマで研究に取り組んでいます。ソフトウェア情報学部では通常より早い3年生の段階で研究室への配属を行い、学生一人ひとりの興味や能力に応じて研究テーマを設定します。また研究室は少人数のゼミで構成され、2年間をかけて研究に取り組みます。このように各学年の中心科目や重要科目をすべて少人数のゼミ制で行うのがソフトウェア情報学部の特徴のひとつです。

### 地域や社会と連携した教育・研究の取り組み

学生が大学で学んだITスキルを活かして、地域や社会と連携した活動に取り組んでいます。地元企業との連携で開催している小学生向けプログラミング体験教室などの取り組みでは、すべて大学生が中心となり、セミナーの講師やセミナー参加者のサポート、また研究成果の学会発表など、地域に貢献すると同時に自らの研究や将来のキャリアにつながる成果を目指して活動しています。

※履修する科目(資格取得等)によっては、一部青森キャンパスで履修が必要となる場合があります。

## Check!

### ＋ むつキャンパスで実施したい新たな試み

※プロボノ…各分野の専門家が、職業上持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動

地域におけるIT教育の充実をはかる取り組みとして、青森キャンパスではGoogle社の後援のもと、高校生・大学生・社会人がお互いに教え合いながら自主的に学ぶ場としてプログラミングセミナー「東北TECH道場」の青森道場を主催しています。Google社から派遣された国内の最先端企業で活躍する講師を招き、Androidアプリ開発や機械学習プログラミングなど、ハンズオン形式で新しいプログラミングのスタイルやテクニックを学んでいます。今後、むつキャンパスや東京キャンパスも交えて、大学生が主体となる新しい「むつ・青森・東京道場」が作られることを期待しています。その他、International Open Data Day や地域のプロボノ\*団体 Code for Aomori との共同で実施される地域のエンジニアによる講義、青森県警の「サイバー防犯ボランティア」などの学外活動にも授業を通じて1年次の段階から積極的に取り組んでいます。



ソフトウェア情報学部  
角田 均 学部長

## 情報技術で 世界にチャレンジ

情報技術（IT）はあらゆる分野の仕事や社会を変革し、またインターネットによって地域や国、文化の壁をも飛び越えようとしています。

これからの世界を担う皆さんには職種・業種を問わず、ITによって生まれ変わるあたらしい世界で通用する本物の知識・技術を身につけることが求められるのです。

むつキャンパス・青森キャンパス・東京キャンパスから世界につながる新しい学びの場を、皆さんと一緒に作っていくことを楽しみにしています。

## 授業紹介

科目名 コンピュータ基礎

担当教員 黒田 茂

**科目の内容** ▶ コンピュータは現代社会においてなくてはならないものとなっており、私たちの日常生活とも深いかわりを持っています。この授業では、コンピュータの仕組みがどのようになっているか、またコンピュータの内部では様々な情報がどのように表現され、処理されるかということについて学習します。それらの内容は、ソフトウェア情報学部のいろいろな授業の前提知識となると同時に、基本情報技術者試験で想定される基礎知識ともなります。

**担当教員より** 学習効果は、頭だけでなく手も動かした方が高くなることが知られています。是非、積極的に取り組みましょう！

## 在学生インタビュー

ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科

山本 奏真 さん

（青森県立大間高等学校出身）

### プログラミングの知識を生かし 地方の産業を支えていきたい

私はシステムエンジニアを目指しているので、プログラミング演習や情報リテラシーなど、1年次からPCを操作しプログラミングを学ぶことが魅力的です。キャンパス内の設備が整っているので、充実した大学生活を送れています。地域の方々との交流も多いため、将来はプログラミングの知識を生かして、地方の産業を支えていきたいです。

# むつ下北を知る

青森大学のカリキュラムは、専門科目の他に、基礎スタンダード分野における幅広い教養教育を基礎としています。むつキャンパスは、基礎スタンダード科目を通して、むつ下北を知り、むつ下北の未来を創っていくことを目指しています。



科目名	あおもり学 (むつキャンパス)	科目名	創成コア特講 I
<p>地元在住の多彩なゲストスピーカーから地域の様々なトピックスや自らの経験談等を通して、専門的な観点から分かりやすく話していただきます。下北の自然、風土、歴史、文化、伝統、産業など様々な角度から語り、学ぶ授業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶01 ガイダンス「ある下北人の半生から」 担当教員/工藤 和彦</li> <li>▶02 「ワタシが下北に住む理由」 むつ市国際交流推進員/ヘンリー・レイチェル氏</li> <li>▶03 「ここが下北ジオパーク」 むつ市ジオパーク推進員/北川 桐香氏</li> <li>▶04 「下北の野生動物」 写真家・脇野沢コースホステル経営/いそやま たかゆき氏</li> <li>▶05 「斗南藩～先人斗南に生きる～」 斗南會津会 常任理事/遠島 敬氏</li> <li>▶06 「下北の先史時代」 むつ市生涯学習課学芸員/森田 賢司氏</li> <li>▶07 「下北の地域づくりの未来展望 ～関係人口・6次産業化の取り組みを通して～」 イカす大畑カダル団代表・むつ市教育委員/長岡 俊成氏</li> <li>▶08 「むつ市のまちづくりについて」 むつ市長/宮下 宗一郎氏 ※令和4年度前期の内容です。</li> </ul>	<p>ビジネスや経営を考えるための基礎的な知識を身につける授業です。この講義では特に地域社会を考え、少子高齢化や人口減少など私たちが直面している課題について、どのようなアプローチがあるかを考えながら、地域社会の課題解決の出口を探求します。</p>		



例：「下北・むつ市の観光の現状と観光資源について」  
むつ市役所観光戦略課主任/美濃 英武氏

## 宮下市長の特別講義

6月13日(月)にむつ市長 宮下宗一郎特別招聘教授の特別講義が行われました。冒頭、本を読み自分の頭で考えて行動することの大切さを自らのコロナウイルス関係の読書を紹介して分かりやすく説かれました。テーマの「むつ市のまちづくり」についてはワークショップ形式で行われ、途中アイスブレイクも交え楽しい雰囲気の中で地元就職先、特産品販路開拓、暮らしやすいまちといったグループ別の発表を指導していただきました。

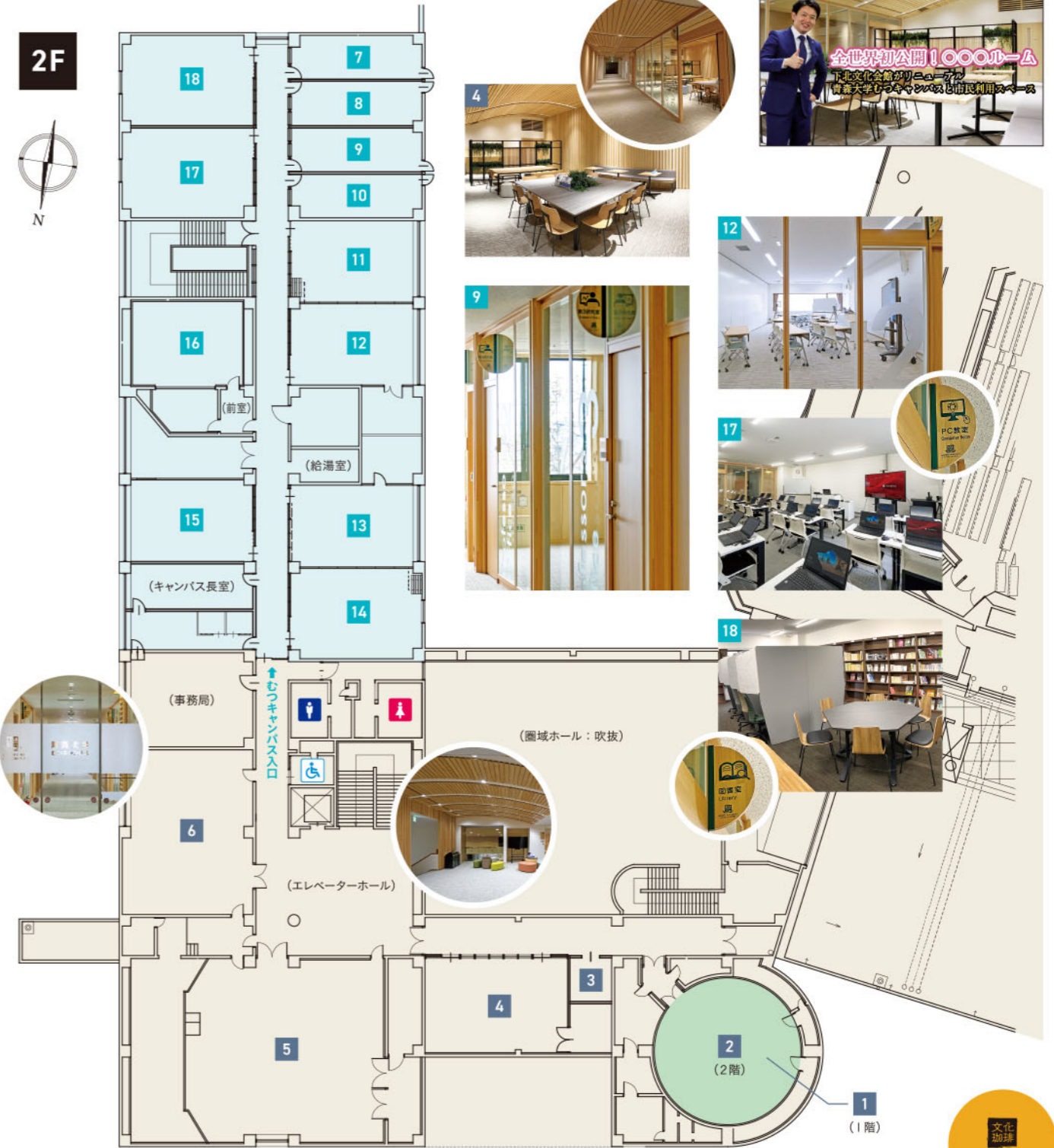
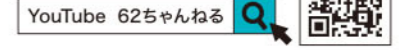
終わりには、YouTube「むつ市長の62ちゃんねる」を紹介していただきながら、方程式の成り立たないような現代社会では若いみなさんの自由な発想が大切と期待を述べられました。



# 施設マップ



むつキャンパスの様子はYouTube62ちゃんねるでも紹介しています。



- |   |   |
|---|---|
| <p><b>【共有スペース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 下北文化珈琲店 (1階)</li> <li>2 フィッシュポウルーム</li> <li>3 自動販売機</li> <li>4 コミュニティラウンジ</li> <li>5 大集会室</li> <li>6 集会室</li> </ul> | <p><b>【むつキャンパス内】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7 第1研究室</li> <li>8 第2研究室</li> <li>9 第3研究室</li> <li>10 第4研究室</li> <li>11 第1教室</li> <li>12 第2教室</li> <li>13 第3教室</li> <li>14 第4教室</li> <li>15 第5教室</li> <li>16 スタジオ</li> <li>17 PC教室</li> <li>18 図書室</li> </ul> |
|---|---|



# キャンパスライフ

共有スペースは、居心地のいい空間となっており自習やグループワークなど様々なシーンに合わせ活用することができます!!



コミュニティラウンジ (共有スペース)

全室にWi-Fi、大型モニターを完備。対面授業に加え、IT技術を駆使し、むつと青森と東京をリアルタイムで繋ぐインタラクティブなオンライン講義も組み合わせて展開します。本州「最北端」の下北地域で「最先端」の学びを受けられます。快適な学習環境の中で多様な活動を応援します。



フィッシュボウルルーム (共有スペース)



エレベーターホール (共有スペース)



図書室 (むつキャンパス内)



PC教室 (むつキャンパス内)



教室 (むつキャンパス内)



事務局

事務局では、履修管理や生活相談など学生の皆さんが充実した大学生活が送れるようサポートしております。その他、アルバイトの斡旋や課外活動など将来を考えるうえでの支援を行っています。

## EVENT & ACTIVITY

大学には、イベントがたくさんあります。むつキャンパスを出て、青森キャンパスや東京キャンパスの学生との交流イベントに参加し、学校生活をエンジョイしましょう。



青大祭!! 青森キャンパスで開催するこの日に、青森キャンパスの学生との交流や、むつキャンパス学生有志でブースを出展してみたい?! 青大祭名物は、大学事務局出展の「焼きそば」です!



青森の夏のイベントといったら、青森ねぶた祭!! 青森山田学園大型ねぶた出陣に、本学も参加しており、むつキャンパスからも参加できます!



むつキャンパスでは、独自のクラブ・サークルを新しく立ち上げる事ができます。立ち上げメンバーを集め、活動の場を広げてみませんか?

### ■ 地域貢献活動



むつキャンパスでは、地域社会の一員として、地域の活性化に貢献するため地域・社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。地域・社会貢献活動を通じて、地域の方々と相互に交流しコミュニケーションを図っていきます。その他、青森キャンパスのサークル団体と協力し、地域の方々と繋がっていく企画も計画しています。



## 青森大学むつキャンパスへの期待

むつ商工会議所 会頭 内田 大輔 氏

雄大な自然に恵まれた下北半島は、何百年と続く神事「祭り」も数多く、また一方で国内の「エネルギー産業の集積地」でもあり、まさに「いにしえとミライ」「自然と科学」が調和している地域といえます。今後、学生の皆さんが市民と触れ合い「むつ市での学び」によって、これらが丁寧に紡いでいかれることにより「地域」が、そして「世界」が変わっていくことを期待します。本州最北の地で「尖った大学」の「尖った学び」による「尖った学校生活」を応援します。

経済的理由で進学を諦めない!

## 「高等教育の修学支援新制度」

2020年4月から家庭の経済状況に関わらず進学できるチャンスを確認できるよう、文部科学省による高等教育の修学支援新制度が開始されました。こちらの制度では、「入学金・授業料の免除または減額」と、「返還を要しない給付型奨学金」の2つの支援が受けられます。詳細は下記の表のようになります。

区分	世帯収入	授業料等減免		給付型奨学金
		入学金減免額	授業料減免額(年間)	
第Ⅰ区分	270万円以下 (住民税非課税世帯)	約26万円(上限)	約70万円(上限)	自宅生 約46万円 自宅外生 約91万円
第Ⅱ区分	約300万円以下	第Ⅰ区分の2/3 約17万円	第Ⅰ区分の2/3 約46万円	自宅生 約30万円 自宅外生 約60万円
第Ⅲ区分	約380万円以下	第Ⅰ区分の1/3 約8万円	第Ⅰ区分の1/3 約23万円	自宅生 約15万円 自宅外生 約30万円

※表の内容は、申込みにあたっての目安となります。世帯構成等によっては、目安の金額を上回っていても対象となる場合があります。制度の詳細や最新情報については、日本学生支援機構ホームページでご確認ください。※進学後にしっかりと勉強をしなかった場合、欠席日数が多い場合は支援が打ち切られます。

## 入学金免除 「むつ下北地域特別優遇制度」

下北地域に住所を有する(住民票がある)方は、入学金が免除となります。原則として、むつキャンパスで学ぶ方が対象です。

※対象地域は、青森県むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、横浜町、六ヶ所村、野辺地町とします。

## 個別相談会開催中!!

入試や大学についての疑問を個別説明会で受付いたします。



### Zoom個別相談会

Zoomを使って進路相談!!  
資料を見ながら説明を受けられます!

対 象: 高校生・保護者・高校教員  
開催日時: 毎日開催 ※平日のみ  
時 間: 最大60分/1回  
申込方法: 完全予約制

※ご希望の日時に沿えない場合、電話もしくはメールにてご相談させていただきます。  
※申込受付後、相談会専用の「アカウント」「パスワード」をメールで送付します。



### 対面での相談会

Zoomの個別相談の他、対面での相談会を希望する方も受付いたします。むつキャンパス事務局へ、お気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮し、開催します。